



この中を見学！

魅  
せ

奈良時代を今  
伝統技能の



受付再開！

受付け再開！

**※定員に達しました**

**臨時開催などの情報は  
【京都営繕事務所HP】に掲載します！**

<https://www.kkr.mlit.go.jp/kyoei/works/miserugenba>

**平城宮跡・東楼復原工事**

名称募集中

「ふく納言、げん大臣」



魅せる！現場（平城宮跡・東楼復原整備工事）紹介キャラクター

公開が終わった夕方（トワイライト）の大極門（どこでもドア）を  
通って、奈良時代から現代にやってきた両官が「奈良時代を今に感  
じる」紹介をしてくれます。

さらにいろいろな人や物が、この門を通して日々、現代と奈良時代  
を行き来しています。

🔍 魅せる現場 平城宮

【主催】近畿地方整備局 京都営繕事務所

<https://www.kkr.mlit.go.jp/kyoei/works/miserugenba/>



# 魅せる！現場 平城宮跡・東楼復原工事

奈良時代を今に感じる 伝統技能の継承現場



## さぁ行こう！～魅せる!現場～開催中

10名～団体向け 2025年5月末終了

### 第1・3木曜日/祝日(指定日のみ)に開催

現場内で宮大工をはじめとする伝統技能職人の仕事に触れる可能性もあります。ご興味のある方は下記サイトで申込みを受けつけております。(※祝日開催は京都営繕HPでお知らせいたします。見学日により工事が無い日もございます)

### 今、知りました

「現場」  
「今、  
せしま  
https://www.kkr.mlit.go.jp/kyoei/works/mis  
erugenb...ex.html



※定員に達しました



公園内でも、ひときわ目を引くのが朱雀門、第一次大極殿(正殿)、大極門(南門)などの復原建造物。復原には古代建築の伝統技能を継承する様々な分野の多数の工匠の技・経験・知識が活かされており現在、東楼の復原工事が始まっています。

### ■申し込み先

<https://www.kkr.mlit.go.jp/kengaku/moushikomi/moushikomi.html>

見学申込み



### ■場所

・平城京跡歴史公園内(東楼復原工事現場)  
<https://www.heijo-park.jp/information/access/>

・集合場所:復原事業情報館

<https://www.heijo-park.jp/cms/wp-content/uploads/fukugen202302.pdf>

見学実施時期

～2025年5月末で終了

見学対象

・団体 10名～(30名以上の場合、15名～30名/班としてグループ毎に分かれていただきます)

・対象 小学生高学年以上(安全上ヘルメットを被っていただきます)

※警報発令時など天候不順で中止することがあります。(見学当日の朝に判断いたします)



魅せる現場 平城宮



# 「魅せる！現場」って何をみれるの？

歴史的木造建造物をつくるため受け継ぐ伝統技術の技（伝統建築工匠の技）である木工・装飾・彩色・本瓦葺・縁付金箔製造などが復原工事で活用されています。「魅せる！現場」では、それらの技が工事の進捗により間近で見学することができます。

## 1 加工原寸場 原寸・型版・模型作成

原寸図とは設計図から軒や梁の曲面、木材の仕上がり具合を原寸大で床に描きます。原寸図から型版を製作し、仕上がり具合を確認するため模型を製作。複雑な図法を駆使して描く技は宮大工の棟梁の技の神髄です。

※屋根の原寸図やしびのBIM模型も展示しています。



模型作成  
仕上がりを確認

巧みの技  
大工道具も古代から伝えられている道具で加工



## 2 素屋根内で復原建物見学

加工原寸場で各部材を加工し、素屋根内の現場で組立。反りや丸み、まわりや丸み、

# ※定員に達しました

最大級の長さの梁  
宮大工による組立



## 3 解説・質問タイム

施工者によるモニター等を使った丁寧な説明。見学日によっては職人も含めた質疑応答など、伝承される技術のすばらしさをお伝えします。



※この見学会では理解向上のため、極力少人数10名～30名の参加者による説明会を基本としております。



会によっては職人と話せる場合もあります

モニターを使って解説



## 交通アクセス

